

第3回研究会の主な論点

1. 地域における創業型高付加価値企業の成長のための課題(1) 地域における創業型高付加価値企業の成長の必要性

地方では雇用をはじめとする地域経済の多くを中小企業が担っており、各地域で高付加価値機能の集積形成を図るためには、地域の中小企業の成長や高付加価値化を促すことが重要。(P1)

また、ベンチャー企業やナンバーワン企業をはじめとする高付加価値を生む中小企業は、地方でも相当程度の立地が見られ、地域経済を牽引している。(P2、3)

このため、各地域において高付加価値機能の集積形成を図るためには、地域で創業したこれらの中小企業(地域における創業型高付加価値企業)の成長を図ることが必要ではないか。

(2) 地域における創業型高付加価値企業の成長の課題と取組

地域における創業型高付加価値企業の経営上の課題(人材の獲得、資金調達、販路の開拓・拡大等)を解消し、これら企業を成長させていくためには、どのような取組が必要か。(P4~10)

例えば、地方公共団体は、以下のような事項についてどう取り組むべきか。

- ・創業型高付加価値企業の成長に向けた地域の戦略の確立
- ・これら企業の経営上の課題に応じ、専門的な技術・ノウハウにより支援できる地域の人材の確保、サポート体制の構築
- ・意欲的な経営者や企画力・営業力ある企業人材を生み育てる地域の環境整備

創業型高付加価値企業の事業機会の更なる拡大等により地域全体の経済発展につなげていくためには、広域的な地域連携をはじめどのような対応が必要か。

2. 産学連携を通じた高付加価値機能の集積形成のための課題

創業型高付加価値企業の成長を含む地域における高付加価値機能の集積形成を図るために、大学・研究機関は、企業とどのように連携・協力していく必要があるか。(P11~13)

3. 欧州における高付加価値機能の立地・成長のための条件整備

欧州(仏・蘭)では、高付加価値機能の立地・成長のため、専門的機関を設けたり、大学・研究機関の機能を活用するなどの取組が見られるが、我が国にとってどのような点が参考となるか。(P14~20)